

# 平成 17 年度 第 1 回道守ふくおか会議運営会議

日時：平成 17 年 6 月 27 日(月)、10:00~12:00

場所：(社)九州地方計画協会会議室

## 議事要旨

平成 17 年度第 1 回道守九州会議運営会議 (H17.06.02 開催) の概要報告(事務局より)

### 平成 17 年度、第 1 回道守ふくおか会議運営会議、議事

#### (1) 道路ふれあい月間にむけた活動

##### 「道守パネル展」「とるば展」の展開

- ・7月から9月まで県内6箇所の道の駅で「道守パネル展」を開催予定。(国道事務所)
- ・「道守パネル展」と併せて「とるば展」と題し、フォトコンテスト中投稿のあった作品を道の駅で紹介してほしい。「とるば展」も「道守パネル展」と併せて持ち回りで行うことで了承。
- ・展示企画は国道事務所と道守で道の駅とも協議し行う、必要な写真制作は国道事務所で。
- ・展示場所は道の駅の中の情報コーナーなど想定している。銀行や県庁商工会議所などでの展示も考えてはどうか？
- ・「おこしかけ」で展示後、市役所に展示できないか働きかけてほしい。
- ・とるばコンテストの上位作品の絵葉書、記念切手などを発行してはどうか。著作権の扱いは確認を。
- ・記念切手は北海道のシーニックバイウェイでもやっている。

##### FMラジオ広報での道守インタビュー

- ・放送日、インタビュー内容など紹介。(福岡国道事務所)

##### 道路ふれあい月間「福岡ごみゼロ作戦(県下一斉清掃)」

- ・道守と行政が連携して幅広く一般県民にまで一斉活動と呼びかける趣旨だが暑い8月は時期的にどうか？
- ・いろいろな月間、週間が多すぎる。8月にこだわらず季節を変えて行ってもいいのでは。
- ・道守が行政のふれあい月間をうまく利用して活動に結びつけられればいいのでは。
- ・ごみゼロ作戦は個々活動を年間計画として集約し公表するような視点もあるのでは。いろいろな活動団体があり、バラバラな実施を集約し いくつかで何をしている 公表、登録し(市役所などに) 活動カレンダーを作る などの仕組みも考えられるのではないか。

##### 「道を考え・語る」集会

- ・道守ふくおか会議と行政との共催という形でやっていきたい。 了承。
- ・「まちづくり」と「みち」の観点から考える。
- ・環境とみちとの関わり、行政と地域の活動が絡み合っているということが広く出せるようなシンポジウムができないか。 10月の交流会テーマなども視野におき検討しよう。(8月の機会にのらない課題は11月のブロック交流会で議論することも考えられる)

##### 東九州自動車道早期実現に向けた100万人署名への協力について

- ・JCからの要請に対し、道守としても活動に賛同して協力を行なうことで了承。
- ・道守ふくおか会議代表世話人として井上先生の名前を出すことについても了承。
- ・協力をお願いを出す際には東九州道の地図もあった方がいい。

#### (2) シーニックバイウェイ研究・懇談

- ・道守ふくおか会議としてシーニックバイウェイ勉強会を始めていきたい。
- ・シーニックバイウェイ北海道の説明。(福岡国道事務所)
- ・福岡国道事務所では浮羽近辺の田園型シーニック、けやき通りを筋とする都市型シーニックを研究していきたい。

- ・ けやき通りの都市型シーニックに関してはフリンジパーキングとの整合なども考慮しているのか。自動車のみを対象とするものでなく、徒歩、公共交通の利用なども含めたものをイメージしている。
- ・ シーニックバイウェイはわかりづらく、説明もしーにつくかばい。 わかりやすい名称や言葉を考えた方がよい。
- ・ 地域の営みから生まれた遺産（自然、文化、歴史）を現地で保存・育成・展示するというようなことを行政と住民が一体となって発想し、形成するというフランスで提唱されたエコ・ミュージアムの理念と共通するものがあるのでシーニックもみちを背骨としたエコ・ロード・ミュージアムみたいな名前にした方がわかりやすいかもしれない。
- ・ 道守という古代からあるきれいな日本語を使って活動をしているのにシーニックという横文字を取り入れることに抵抗を感じる。 中身が伝わりやすく美しい日本語をみんなで考えていってはどうか。
- ・ シーニック自体がもわっとしており、具体的なイメージをつかみかねている。もっと活動内容の明確化がされないと名前付けをするのも難しい。
- ・ 北海道ではみち造りに対し、反対の立場の方たちがシーニックの中核に位置している。地域づくりが主体であり、道は後からついてきたような形。
- ・ 道を背骨にした地域のつながり・歴史・文化について考え勉強していくことについては賛成。勉強会では何を切り口にするのが大事。

### (3) 道守児童隊(愛称設定)の創設と育成

- ・ 教育委員会などとも連携し、道守のひとつの部門として道守児童隊(仮称)を設置できないか。
- ・ 児童隊という名称について、ここではジュニア、キッズなど横文字を使ってもよいのでは。
- ・ 清掃、交流活動を通し、継続してだんだん育っていくことが重要。対象とする年齢や学年を決める際はそのようなことも考える必要がある。
- ・ このような活動はぜひ必要。

### (4) 道守ホームページの県コーナー活用促進(道守HPは7月にリニューアル)

- ・ 道守の方々が地域の活動を簡単に情報発信し、交流していけるような形にリニューアルするのでどんどん活用していただきたい。

### (5) その他

#### 道守ふくおか会議規約制定、参与の委嘱など

- ・ ふくおか会議の規約はしばらく案のまま運用してみて、不具合があれば修正していくという形をとっていききたい。助言や指導をいただく参与には国交省事務所長、県担当課長、政令市担当部長様などをお願いしていきたい。

#### 会員の裾野拡大、及び賛助会員の声かけ

#### 幹線協議会「道守部会」の設置と市町村まで連携した協働活動環境の強化

#### 連絡体制(担当者の確認)

- ・ メールのやり取りが簡単にできる形作りをしていきたい。リスト化したものを活用できるように。

#### 「道づくしin大分」への参加体制

#### 道守九州会議の報告

#### その他

- ・ 次回開催は事務局の方で調整。
- ・ 次回の会議は福岡国道事務所の会議室などをお借りして開催したい。